

演劇公演企画書

弦巻楽団#40

ファーンズワースの発明

原題: The Farnsworth Invention

脚本: アーロン・ソーキン 翻訳: 青井陽治 演出: 弦巻啓太

2024年 11月 21日(木) ~ 24日(日)

生活支援型文化施設コンカリーニョ



お問合せ：一般社団法人劇団弦巻楽団（担当：佐久間泉真）
〒064-0811 北海道札幌市中央区南 11 条西 9 丁目 4-1-8 号室
TEL 090-2872-9209 MAIL info@tsurumaki-gakudan.com

企画概要

鬼才アーロン・ソーキンによる実話に基づいた傑作戯曲“The Farnsworth Invention” 弦巻楽団の手により、日本初演！

“The Farnsworth Invention”は、映画『ア・フュー・グッドメン』や『ソーシャル・ネットワーク』で知られる脚本家アーロン・ソーキンの代表作の一つ。テレビ開発の歴史を実話を基に描く本作は、2007年にブロードウェイで上演されました。

ニール・サイモン『裸足で散歩』（2016年）、アリエル・ドーフマン『死と乙女』（2023年）など、これまで数々の海外戯曲を手掛けてきた弦巻楽団が、2024年11月、日本初演を行います。

日本を代表する翻訳家・青井陽治が亡くなる直前に「これをいつか上演して欲しい」と弦巻に手渡した未発表の翻訳を使用。演出家・弦巻啓太の一つの到達点となる舞台です。

出演は弦巻楽団の劇団員に、豪華俳優陣を迎えたオールスターキャスト。主人公である天才科学者フィロ・ファーンズワースを、これまで何度も弦巻楽団の舞台を共に作り上げた遠藤洋平が演じます。

初日を迎える2024年11月21日は「世界テレビ・デー」。

テレビの発明をめぐる二人の《インヴェンション》の日本初上演をお見逃しなく。

[ストーリー]

1921年夏、14歳の天才少年フィロ・ファーンズワースは、誰も成し遂げていなかった「電子テレビの設計図」を考案する。彼の描く革新的な技術は、当初多くの大人たちから真剣に受け止められていなかった。

しかし、彼の世界初の実験が成功したことで事態は急転。

彼の成功は、やがて大企業RCAの社長デイヴィッド・サーノフとの間に長期にわたる争いを引き起こすことになる――。



ニール・サイモン作『裸足で散歩』2016年、シアターZOO



アリエル・ドーフマン作『死と乙女』2023年、コンカリーニョ

公演概要

弦巻楽団#40

舞台『ファーンズワース・インヴェンション』 The Farnsworth Invention

脚本：アーロン・ソーキン 翻訳：青井陽治 演出：弦巻啓太

出演：遠藤洋平（ヒューマン）、村上義典（ディリバレー・ダイバーズ）、深浦佑太（ディリバレー・ダイバーズ）、井上嵩之（→GyozaNoKai→）、田村嘉一（演劇公社ライトマン）、岩波岳洋、相馬日奈（弦巻楽団）、木村愛香音（弦巻楽団）、イノッチ（弦巻楽団）、高橋咲希（弦巻楽団）、高野茜（弦巻楽団）、来馬修平（弦巻楽団）、温水元（満天飯店）、町田誠也（劇団 words of hearts）

音楽：加藤亜祐美 舞台美術：高村由紀子 照明プラン：山本雄飛
音響：大江芳樹（株式会社ほりぞんとあーと） 宣伝美術：勝山修平（彗星マジック）
ライセンス：シアターライツ 特別協力：土屋誠（カンパニー・ワン） 制作：佐久間泉真

日時：2024年11月21日(木)～24日(日)

11月21日(木) 14:00/19:00

11月22日(金) 14:00/19:00

11月23日(土) 14:00/19:00

11月24日(日) 14:00

※開場は開演の30分前。 ※上演時間は約120分を予定。

会場：生活支援型文化施設コンカリーニョ

〒063-0841 北海道札幌市西区八軒1条西1丁目2-10 ザ・タワープレイス 1F

TEL 011-615-4859

料金：前売・予約 一般4,000円、25歳以下2,500円、高校生以下1,000円、ペアチケット：6,000円
当日 一般4,500円、25歳以下3,000円、高校生以下1,500円

チケット発売日<2024年9月1日(日)10:00 販売開始>

取扱い：・ローソンチケット（Lコード：11703）

・道新プレイガイド・市民交流プラザチケットセンター・セコマチケット（D24112101）

・オンライン予約フォーム <https://r7ticket.jp/40farnsworth>

[注意事項]

- ・ペアチケットは1枚で2名様が入場できるチケットです。ご利用の際は、2名同時に受付・入場していただく必要があります。別々での入場はできませんのであらかじめご了承ください。
- ・U-25（25歳以下）、高校生以下チケットは当日受付にて身分証をご提示ください。
- ・未就学児の入場はご遠慮いただいております。
- ・ご予約のお客様は、当日受付にて支払いが済んでからのご案内となります。前売券をお持ちのお客様を優先的にご案内する場合がございます。

主催：一般社団法人劇団弦巻楽団

助成：芸術文化振興基金

後援：札幌市、札幌市教育委員会

協力：さっぽろアートステージ2024実行委員会、札幌劇場連絡会

【公演特設サイト】<https://40farnsworth.tsurumaki-gakudan.com/>

プロフィール



弦巻楽団 Tsurumaki Gakudan

2003年に演出家・脚本家の弦巻啓太が設立。ウェルメイド・コメディを中心に様々なジャンルの演劇作品を上演しており、北海道内外の数々の演劇賞を受賞。拠点である札幌以外での公演も活発に行い、東京、愛知、大阪、北九州、さらには韓国でも上演し、確固たる支持を得ている。分かり易い語り口と奥深い洞察を兼ね備えた物語が「初めての観劇にふさわしい」と評価され、継続的に中学・高校への芸能鑑賞としても各地へ招聘されている。

弦巻 啓太 Keita Tsurumaki

脚本家、演出家。高校時代に演劇活動を始め、2003年に弦巻楽団を旗揚げ。札幌劇場祭や神谷演劇賞など、数々の賞を受賞。2015年、『四月になれば彼女は彼は』で若手演出家コンクール最優秀賞。自らの作品だけでなく、R・W・ファスビンダー『ブレーメンの自由』、アリエル・ドーフマン『死と乙女』など、海外戯曲の演出も高く評価されている。



弦巻楽団 最近の主な作品

2023年 **セプテンバー** 作：弦巻啓太 札幌演劇シーズン 2023-夏 サテライトプログラム
生活支援型文化施設コンカリーニョ（札幌）、帯広市民文化ホール（帯広）、苫前町公民館（苫前）

死と乙女 作：アリエル・ドーフマン 札幌劇場祭 2023 優秀賞・俳優賞（井上嵩之）受賞
生活支援型文化施設コンカリーニョ（札幌）

2024年 **ピース・ピース** 作：弦巻啓太 札幌演劇シーズン 2024-冬 参加作品
生活支援型文化施設コンカリーニョ（札幌）、置戸町中央公民館（置戸）

出停記念日 作：島元要 札幌演劇シーズン 2024 サテライトプログラム
ターミナルプラザことにパトス（札幌）、アトリエ銘苺ベース（那覇）